令和８年度　第１回太良町総合教育会議会議録（要旨）

● 日　時　　令和８年８月 27 日（木）10 時 00 分～10 時 55 分
● 場　所　　太良町役場２階大会議室
● 出席者（敬称略）

＜構成員＞

・町　　長：永淵　孝幸
・教育委員会：教育長　岡　陽子、教育長職務代理　鶴崎　修
　　委員　岩島　良人、中尾　浩栄、船口　直子

＜事務局＞

・副　町　長：毎原　哲也
・総　務　課：課長　萩原　昭彦、係員　池田　祥悟
・学校教育課：課長　羽鶴　修一、再編整備係長　福田　嘉彦、係員　吉開　拓哉
　　教育総務係長　田口　聡子、指導主事　岡　孝一郎
・社会教育課：課長　中溝　忠則

＜関係職員＞

・財　政　課：課長　西村　芳幸
・建　設　課：課長　安本　智樹

＜オブザーバー＞

・太良町中学校再編統合検討委員会：委員長　髙松　謙二、委員　大鋸　美里、
　　杉﨑　弘幸、赤木　一成

１　開　　会

進行（萩原総務課長）

２　町長挨拶

少子化による児童生徒数の減少により、学校の再編や教育環境の見直しが全国的な課題となっています。太良町においても、未来を担う子どもたちが、安心して学び、夢を育むことができる教育環境を整備することは、私たち大人の責務であります。

子どもたちにとって、最適な学びの場を提供するためには、どのような方向性が望ましいのか、私たち「町」と「教育委員会」とでしっかりと考えていく必要があると認識しております。

本日は、中学校再編統合検討委員会での審議結果を基に、統合する中学校の設置場所、また、その実現に向けた課題について議論を進めていき、これらの議論が太良町の教育環境をより良いものへと導く第一歩となることを心より期待しております。

皆様のお知恵やご意見を頂戴しながら、子どもたちが未来に希望を抱ける街づくりを進めてまいりますので、本日は忌憚のないご意見をいただければと思います。

３　報　　告　【ここからは議事の進行を永淵町長が行う】

（１）学校再編統合に係る各会議におけるこれまでの審議状況について

事務局（羽鶴学校教育課長）より説明

（２）太良町中学校再編統合検討委員会における設置場所の検討結果について

事務局（羽鶴学校教育課長）より説明

これまでの２点の議題について、一括して質疑応答に入る。

○永淵町長

検討委員におかれては、大変ご苦労されたことと推察する。特に、子どもが安全・安心して通学できる手段というのが一番の課題であると考える。

○岡教育長

通学方法については、資料４のとおり、多良中学校に集約した場合と大浦中学校に集約した場合、また、それぞれ路線バス、ＪＲ、スクールバスを使用した場合を、現在の在校生数を基に比較検討している。経済面等を勘案して検討した結果、条件としては多良中学校に集約した方が望ましいのではないかと判断していただいた。

白石中学校の統合にあたって、スクールバスをスタートする段階で、多くの保護者から質問・要望があり、その対応が大変だったと聞いている。太良町における交通手段については、規約等も含めてどういう状況が考えられるかについて、第４回の検討委員会で検討していただくことになっている。

○鶴崎教育長職務代理

通学方法については、ひとつだけではなく、どれを使ってもいいような形で検討していただきたい。

○事務局（羽鶴課長）

現在は第一候補にスクールバスをベースとして考えているが、できるだけ皆さんのご要望に沿った形で検討していきたい。この点については、先の教育長の発言のとおり、第４回検討委員会で深堀りしていきたい。

○永淵町長

スクールバスの運営についても、直営なのか民間委託なのか。直営の場合は運転手を雇用する必要がでてくる。昨今、バスの事故が多発していることを鑑み、専門機関に依頼した方がいいのか、そういったことも含めて検討していただきたい。

４　協議事項

（１）検討委員会から出された設置場所の方向性について

事務局（羽鶴学校教育課長）より説明

○船口委員

学校周辺に公共施設が集中しており、利便性が高く、また、財政面でも通学に係る費用を抑えられるということで、多良中学校に集約するという意見には賛成している。ただ、多良中学校の課題点としてあるように、学校の敷地が狭いというところを心配しており、どのように設計するのか関心を持っている。大浦中学校は自然環境が整っているところで、学校敷地も広く、校舎もシンプルではあるが過ごしやすい環境で、子どもたちも心豊かに育っているなと思っている。多良中学校に集約するのであれば、大浦中学校の子どもたちにとっても、新しい学校もいいところだった、行ってよかったと思える学校づくりをご検討いただきたい。

○岩島委員

多良中学校に集約するということで納得している。ただ、いろいろな小中学校を拝見した中で、大浦中学校は別格に環境がいい環境面で子どもたちは育っているといっても過言ではないと思っている。ただ、安全面では多良の方がいいとも思う。また、部活動、社会教育活動を鑑み、子どもたちにとっては多良の方がメリットが大きいと考えている。

○事務局（羽鶴課長）

岩島委員がおっしゃるように、部活動関係はこれからも地域展開していき、文化面に関しても、どちらかというと活動の場が多良地区に集中しているので、今後統合するにあたって、子どもたちがそういう面に触れていけるような環境整備が必要だと感じている。また、船口委員にも、大浦の環境がいいというご意見をいただいている。「新しい学校で良かった」ということを言っていただけるような学校作りをしていきたいと思っている。

○永淵町長

多良地区には、排水のいいB&Gグラウンドもある。競合しないときは小学校のグラウンドも利用させてもらう等、体育館含めて公共施設を利用できるよう協議をしてもらいたい。

（２）学校再編統合を進めるにあたっての今後の課題について

事務局（羽鶴学校教育課長・福田再編整備係長）より説明

○船口委員

現在の多良中学校を見学した際に、入口が非常に分かりにくいと感じたので、全体像を考えて計画していただきたい。子どもたちのための学校づくりということを考えると、全体的に建て替えた方がいいのではと考えている。

○中尾委員
狭い敷地だからこそ、いい環境を作るために、まとまりのある学校が必要だとの記載がありますが、そのためには、管理教室棟と普通教室棟同時での建替えが良いのかなと思う。資材費等も年々上昇しており、費用面でも心配であるが、うまくコントロールしていただきたい。

○永淵町長
費用対効果、財政面を考慮しながらやるのが行政の常ではあるが、今回のようなケースでそこばかりに拘っていては、後々後悔しかねない。そういったことが無いように、慎重に検討しなければならない。

○岡教育長
今後の課題として、現在の備品をどうするか、これからの新しい時代に相応しい学校をどう作るかというようなことも検討が必要だと思う。スタート時期は未定であるが、現在の再編統合検討委員会とともに、今後、新しい学校づくり準備委員会を設置する、また、建設検討委員会を適切な時期に設置するという方向で、教育委員会で進めさせていただきたい。専門的立場として、建設課、財政課からも委員として協力いただき、より良い学校づくりができるよう進めていくので、どうぞよろしくお願いします。

５　その他

○オブザーバー（赤木氏）
名称変更についても検討されるか。

○岡教育長
学校名、制服、校歌についても検討事項である。

４　閉　　会